2019年度
カナダ語学研修

「国際感覚」と「人格形成」
～見て、聞いて、感じて思う～

横浜創英中学・高等学校

カナダ語学研修

本校では、毎年中学3年の10月に、中学での学びや体験の集大成として「カナダ語学研修」を実施しています。行き先はカナダ。現在はカナダ東部トロント市郊外のオリリアというスモールタウンで行っています。今年は10月14日（月・祝）～24日（木）の11日間の日程でした。

生徒たちは一人一家庭のホームステイを体験します。そして毎日、スクールバスやファミリーの車で現地の学校に通い、学校ではバディ（一人ひとりに世話役の現地の生徒がつきます）と一緒に授業に参加したり、ランチを食べたりします。午後には、市内散策やスポーツ交流、日本文化紹介などの多彩なプログラムが用意されています。学校が終わると、ステイ先の家庭に帰りますが、週末にはファミリーとともに散歩やショッピングに出かけたりして、カナダの豊かな自然や生活を満喫します。

生徒たちには、勇気を出して英語で話してみる、ファミリーやバディとの交流を深める、異文化としてのカナダを理解する、さらには日本文化の良さを再認識する、といった質の高い体験をしてほしいと期待しています。そうした体験を通して、英語を積極的に活用しようという気持ちを養うとともに、グローバルな世界への目を開いて行ってほしいと思います。

本校ではそのために入学時から様々なプログラムを用意していますので、生徒たちにはしっかりとした力を身につけ、真に意義ある「カナダ体験」をしてほしいと願っています。

横浜創英中学・高等学校
校長　下山田　伸一郎

なぜCANADA？

安全・安心

カナダは国連で世界一住みやすい国として選ばれたことから、世界でもまれにみる治安のよい国です。アメリカとは違い銃刀類の保持、酒類の販売・飲料場所に関する規制が厳しく、日常生活の中で危険性を感じることはほとんどない安全・安心な国です。

スモールタウンプログラム

人口5,000～100,000人規模（平均25,000人）の小さな町で研修プログラムが実施されます。心のこもったおもてなし、安全性など、カナダの日常生活を肌で感じながら満足度の高い研修が受けられます。

カナディアン・ホスピタリティ

カナダの人々は、とてもフレンドリーです。町を歩いていると、道に迷っていたり困っていると親切に声をかけてくれます。ステイ先のファミリーも家族同様のもてなしで迎えてくれます。生徒たちにとって素朴で親切で飾らない人柄のカナダの人々との出会いは、一生忘れることのできない素晴らしい思い出になります。2015年度より一人一家族のホームステイとなり充実しています。

グローバルな文化体験

「モザイク国家」とも呼ばれる多民族国家のカナダでは、各民族の文化や各州の独自性が尊重・保護されています。生徒は日本と異なる生活様式や文化の多様性を学ぶことが出来ます。カナダでの研修体験は帰国後の生徒の成長の大きな糧になります。

広大な自然を満喫

自然を大切に守り、人間と自然が調和して生活していることがカナダ人の誇りです。スケールの大きい平原・山岳地帯・森林・河川などが織りなすカナダの景観から、日本では見ることの出来ない雄大な大自然の素晴らしさを肌で感じ取ることができます。ナイアガラの滝は「すごい！」の一言です。

MLI(Muskoka Language International)とは？

現地の英語研修プログラムのことです。スタッフは元学校関係者、教育委員会役員、校長等から構成され、教育に関して深い理解があり1995年設立以来カナダでは外国人向けの語学研修の専門家集団として高い評価を受けています。特にMLIの提供する英語研修は、現地中学・高校との独自のネットワークを活かし、現地学校の授業に参加するプログラムを提供できることが最大の特色になっています。

本校では2005年よりJTBを通じて委託契約し、語学研修並びにホームステイを実施。現地でのアクティビティ、文化交流会をはじめ研修プログラムの詳細については本校の意向を十分に伝え、実施しており、プログラムの改善点等をお互いに話し合うなど緊密な関係を保っております。本校の研修は、現地校授業参加型となっていることが特色です。

カナダ紹介

カナダは正式名称をカナダ連邦といいます。10の州と3つの準州によって構成されています。北アメリカ大陸の約3分の1を占めるその国土面積は、9,976,140平方キロメートルで、ロシアに次いで世界第2位です。しかし広大な国土の割に人口は少なく、総人口3、300万人の9割はアメリカとの国境500キロメートル以内に、また5割はトロント、オタワ、モントリオールなどの東部に集中して生活しています。また日本のおよそ27倍と、国土が大変広いため国内だけで最高5.5時間の時差があり、太平洋から大西洋まで6つの時間帯に分けられています。カナダは1867年に建国されたばかりの国なので、国としての歴史は約140年ほどしかなく、その意味ではまだまだ新しく成長を続けている国といえるでしょう。カナダの象徴であるメープルリーフの国旗も1965年に作られたばかりです。イギリスやフランスの伝統的文化の影響を強く受けていることもカナダの特徴のひとつで、公用語が英語とフランス語の2つに定められているのもその表れといえます。多民族の国として知られるカナダですが、これは1969年以来、政府が移住者を保護する政策をとってきたためで、現在国民の6分の1は近年移住してきた人々です。

気候も太平洋側は温暖、北極に近い北部は寒冷、中央部は大陸性気候、そして東部は温暖な気候とさまざまなものになっています。

横浜創英中学校では、2017年度より、東部オンタリオ州トロント市郊外のスモールタウン、オリリアにてカナダ語学研修を実施しています。

現地校

TWIN LAKES SECONDARY SCHOOL (TLSS)

現地での様子

～引率した先生のことば～　横浜創英中学校主任　坂口きくえ

3年後にこのカナダ語学研修に参加する事を視野に入れ、入学時より様々な取り組みをしてきました。研修初日は緊張と不安で消極的であった生徒達も、ホストファミリーやバディーとのふれあいを通し、日に日に成長していきました。自分が変わらなければ何も解決しない事、自分が行動をおこせば楽しい事を沢山得られる事を学んでいきました。そして横浜のこと、学校のこと、家族のこと、日本食や日本文化をカナダの人達に紹介し、理解してもらい自信となりました。

言葉や文化・宗教が異なる人間同士が生活を共にすることで、お互いを理解することが出来るようになっていきました。

カナダの人達はとても親切であたたかく、わかるまで何回でも丁寧に説明してくれ、生徒達との時間を大切にしてくれていました。また、改めて日本の良さや日本文化の素晴らしさを感じとることが出来たようです。

ナイアガラの滝や秋の深まる広大な大地、ハロウィンの準備の進む家庭、メープルの葉の美しさもなくてはならないものでした。

この研修を通してカナダだけでなく世界に目を向け世界で活躍出来る人に成長してほしいと強く願っています。

カナダ語学研修に向けての取り組み

1年

イングリッシュアワー(EH)
ネイティブの先生と英語に慣れる

鎌倉研究
古都鎌倉を理解する

2年

日本文化を理解
茶道を体験

関西歴史研修
奈良・京都を研究し、留学生との交流を通して
英語力やコミュニケーション力を高める

3年

横浜研究
地元横浜を理解し、テーブルマナー等を学び
世界に通じるマナーを学ぶ

日本文化を理解
着付け・つまみ細工・江戸切子・風りん

行程表

日次	地名	現地時間	スケジュール
1日目	羽田国際空港	15:20	羽田国際空港集合
	発	17:40	空路にてトロントへ
	トロント空港 着	16:45	
		17:30 頃	ナイアガラへ
	ナイアガラ	20:00 頃	ホテルへ [ホテル泊]
2日目	ナイアガラ	08:30	ホテル出発
		09:00	○テーブル・ロック ◎滝の裏側見学
		10:00	◎ホーンブロワー号乗船
		11:30	◎スカイロンタワー見学
		12:30	○ナイアガラパークウェイを通ってトロントへ
	トロント	14:30	○市内車窓見学
		15:00	オリリアのホームステイエリアへ
	オリリア	18:00	ホストファミリーと対面、ホームステイ開始 [ホームステイ]
3日目		08:45	英語研修
		12:30	○コミュニティオリエンテーション [ホームステイ]
4日目		08:45	英語研修
		12:30	◎ファーストネーション訪問 [ホームステイ]
5日目		08:45	現地校授業参加
		11:30	◎スポーツ交流 [ホームステイ]
6日目	オリリア	終日	ホストファミリーと過ごす [ホームステイ]
7日目		終日	ホストファミリーと過ごす [ホームステイ]
8日目		08:45	現地校授業参加
		12:30	日本文化紹介 [ホームステイ]
9日目		08:45	現地校授業参加
		12:30	カーリング体験
		18:30	フェアウェルパーティー [ホームステイ]
10日目	オリリア	07:45 頃	ホストファミリーとお別れし、トロント空港へ
	トロント空港	10:00 頃	
	発	13:45	空路にて羽田へ [機内泊]
11日目	羽田国際空港 着	15:35	通関後、解散

生徒感想

M.Kさん　私は、このカナダ語学研修で心に残ったことが二つあります。まず、カナダの方々の人柄の良さに感動したことです。

私のホストファミリーは、とても優しくて思いやりがある方々でした。私は、カナダに行った時に風邪をひいていて、具合があまり良くありませんでした。私のホストファミリーは体調をとても心配して温かいお茶を出してくれて、本当に優しく気遣ってくれました。緊張や不安で、カナダに行くのが本当に心配でしたが、ホストファミリーのおかげで、とてもホッとして、リラックスして楽しくカナダの日々を過ごすことができました。

また、バディも本当に優しく、人に話しかけるのがあまり得意ではない私に積極的に沢山話しかけてくれました。気楽に話しかけてもいいのだとバディが教えてくれたように思います。カナダの人々はとてもフレンドリーで、私がホストファミリーと一緒にショッピングセンターに行った時も、初めて会う方々が私の着ていた洋服を褒めてくれたり話しかけてくれたりしました。カナダの方々の思いやりや優しさに沢山触れて、本当に嬉しくて心が温かくなりました。

次に、カナダの学校や生徒の雰囲気、授業風景が日本と大きく違っていたことに本当に驚きました。日本の学校は、私服登校や毛染めやネイル、メイクは禁止されていますが、カナダの学校は、自由だということに驚きました。生徒たちは、思い思いのスタイルで学校に来ていました。また、日本では授業中にスマートフォンを使用したり立ち歩いたりしてはいけませんが、カナダでは自由だったので、初めて授業に参加した時に大変驚きました。また、理系の授業では電卓の使用も許可されていて、様々な点で日本とは大きく異なることに驚きの毎日でした。

私は、初めて日本から出てカナダに行き、日本と大きく異なる文化や学校の違いを知ったり、他にも様々な経験をしたりしたことで、今までいかに自分が世界に目を向けていなかったのかを感じました。これまで私は海外のことにあまり興味がありませんでしたが、今回カナダに行ったことで、海外の文化にとても興味が湧きました。これからは海外の文化を調べたり関連する本を読んだりして、もっと海外に目を向けていこうと思います。広い世界に目を向けると、新たな発見をすることができ、自分の心が豊かになると私は思います。自分の知らなかった世界から良い物を沢山吸収して、人間として大きく成長できるように、これからより一層努力をしていきたいと思っています。

M.Mさん　私にとってこの10日間は、感動と感謝の思いでいっぱいの日々でした。行く前は、初めての飛行機、海外、ホームステイなど不安を感じていました。しかし、カナダに着いてからは楽しもうという気持ちに変わっていき、「積極的に話をする」という目標を立て、達成に向けて努力しました。

私のステイ先のファミリーは、ファーザーとマザー、そして８歳と５歳の女の子でした。初日は、伝えてくれることの意味が理解できても、私が上手く話せず、もどかしさを感じていました。そこで私は「このままでは何も成長できない。」と思い、学校の授業で習った単語を使って、ジェスチャーなども交え「なんとか伝えよう！」という気持ちで話をしました。すると、ファミリーも理解してくれて、その話が盛り上がる度に言い表せないほどの達成感と喜びを実感しました。

日本では、分からないことをその都度聞いたり、意見をはっきり言ったりすることを遠慮してしまいがちです。しかし、現地校の授業でのグループ発表の際、グループ内で「私の意見はこう。」「私はそうは思わない。」という風に自分の意見を主張していて、ディスカッションを行う同い年の子達の姿は私にとって驚きの連続でした。そこで、私も待っているだけではダメだと感じ、分からない事はその場で質問をして、「こうして欲しい」「〇〇したい」などの希望を周りに発信するようにしました。先生やバディ、ファミリーはもちろん、誰に聞いても笑顔で答えてくれて、カナダの方々の人柄に感動しました。そして今回の経験を通して、もっと自分から動いて沢山の人と交流をしてみたい、他の国の文化に直に触れたいと強く感じました。その為にこれからの課題として、意欲的に英語を学習していきたいと思います。

このような経験を中学生のうちにできるのはとても貴重で、自分の視野が広がりました。私は将来の進路について決めていましたが、異文化コミュニケーションにも興味を持ち、進路の選択の幅が広がる機会となりました。

最後に、私が常に安心して過ごせているかと細やかに気づかってくれたホストファミリー、優しく迎えて下さったカナダの学校の方々、そしてこのような機会を与えてくれた母に感謝したいです。

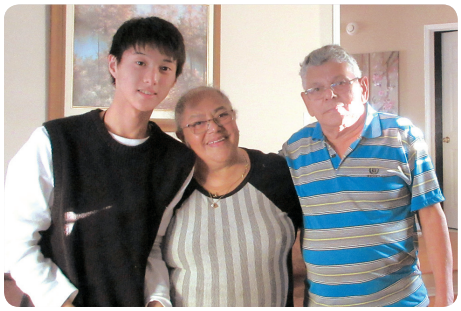
T.Iさん　たくさんのことを学んだカナダ語学研修の中で、私は次の３つの学んだことを話します。１つ目は「自分と違う人種を認めること」です。これまで「人種」と言われると別の世界のように感じ、非現実的に思っていました。しかし、カナダでは周りはアジア人ではなく、テレビの番組もニュースもcmもアジア人はほとんどいませんでした。私はこんなにも違う世界に飛び込んだのは初めてで、動揺が隠せませんでした。それでも日が経つにつれて環境にも慣れ、様々な人種の人が生活していることへの理解を持つことができました。

２つ目は「私が思うより世界の人々は優しい」ということです。初めて体験した海外での生活では本当に多くの人に様々な場面で助けてもらうことがあり、私が思っていたよりもずっと世界は優しいのだと実感しました。10日間しかいない私がそのように感じるのだから、きっとずっと海外にいたら、たとえ色んなことがあったとしても世界中に優しさも溢れているに違いないと思いました。

最後は「人の温かさ」です。ある日私がスクールバスに乗る時、間違えて違う学校に着いてしまいました。しかし、その日バスで仲良く話してくれていた生徒が、私が英語がわからず面倒だったはずなのに、嫌な顔ひとつせず助けてくれました。バディの生徒もホストファミリーも、私の意味が伝わりにくい英語を一生懸命理解しようとしてくれました。たくさん笑顔で話しかけてくれて、バディは私が好きなキャラクターの絵を描いて家でシールにし、それを私にプレゼントしてくれました。ホストファミリーは私の好きな食べ物や行きたい所すべてに連れて行ってくれました。きっとこの世界は怖いこと、厳しいことも、たくさんあると思います。しかし、その中でもこんなに優しい人達に会えて、この幸運を嬉しく思いました。

カナダ語学研修は、今の私にとって特別な時間でした。人種や話す言語、環境、全てが違っても通じ合えることがあって、同じ出来事で同じ反応をして笑うことが出来る。この平凡なようで特別な10日間を過ごす事ができて本当に嬉しかったです。そしてもっと沢山のことを話してたくさんのことを共有したいと思い、英語を勉強することの大切さを改めて理解しました。バディと連絡先を交換したので、相手からの文や送りたい文が完璧に分かるように勉強しようと思います。

K.Sさん　僕がカナダに行って、思ったことは3つあります。



心に残ったことは、カナダの人の優しさです。僕は、土日にお土産や食材を買いにお店に何度か行くことがありました。そこで目にしたのは、微笑みながらあいさつをする人達でした。前を通る時はエクスキューズミーと言い、目が合ったら軽くあいさつをし、困っていそうな人がいたら声をかけていたりする姿がありました。日本ではなかなか見れない風景でした。フレンドリーという人もいるかもしれませんが、僕にはこのやり取りには優しい気持ちも込められていたのではないかと思いました。

それから、自分の英語力の無さを痛感しました。バディとの会話では、最初の自己紹介は理解はできたのですが、ランチタイムでの会話はあまり聞き取れず、少し大変でした。ファミリーとの会話では、僕が理解していないと分かるとゆっくり喋ってくれたり、分かりやすい発音をしてくれました。申し訳なく思ったのとわからなかったことで、少し恥ずかしくなりました。今の英語力がだいぶ遅れていると思ったので、英語を勉強しようと思いました。

新しく生まれた思いは、なんにでもやってみることが大切だということです。僕のファミリーは、日曜日に近所の人達を集めてパーティーを開きました。その時、一緒に踊ろうと誘ってくれた人がいて、ぼくは断れなくて恥ずかしく感じながら踊っていました。しかし、途中でその人が「ノットシャイ」と僕に言いました。その時、恥ずかしがっている方が恥ずかしいことに気づきました。僕は失敗してしまったと思いましたが、誘ってくれた人はそのあとも何度も踊ろうと言ってくれて、その優しさが嬉しかったです。

僕はカナダに行ったことで、これまで見たことない世界を見ることができたような気がしています。

感動の11日間（ミニ留学体験）

現地校交流型プログラム

行程紹介

1日目

羽田空港集合

空路にてトロントへ

ナイアガラ見学

2日目

ホストファミリーと対面、ホームステイ開始

バディと一緒に昼食

3日目

バディと対面

コミュニティオリエンテーション

4日目

ファーストネーション訪問

英語研修

5日目

スポーツ交流

6日目・7日目

休日はホストファミリーと！

8日目

日本文化交流

9日目

カーリング体験

フェアウェルパーティー

10日目

ホストファミリーとお別れ

11日目

帰国